

開催要項

日本福祉教育・ボランティア学習学会 第28回こうべ大会



大会テーマ

響き合う ふくしと学びと SDGs
～今、改めて、つながりを問う

日本福祉教育・ボランティア学習学会

第 28 回こうべ大会 開催要項

1. テーマ

響き合う ふくしと学びと SDGs ～今、改めて、つながりを問う

2. 大会趣旨

2005 年に開催された第 11 回こうべ大会のテーマは、「ともに創ろう共生の社会—被災地からの学び」でした。そこでは、阪神・淡路大震災の復興の過程で注目を浴びた NPO が福祉教育・ボランティア学習の新しい母体になりえるかが論議の中心でした。

あれから 17 年— 今、「こうべ」では、まなざしが被災地から地球へと広がっています。福祉・ボランティア・市民活動と、地球の持続不可能性を問題視する活動とを、理論的・実践的にどうつなげるのか、どのような「人間の学び」が求められるのかが模索されています。全国的にはいかがでしょうか？

また、2015 年に国連サミットで「SDGs」（17 の持続可能な開発目標）が提起されました。地球的課題を視野に入れた社会変容と私たちの「ふだんの暮らし」の関係の再構築が求められているといえるでしょう。今まさに、ふだんの暮らしをしあわせにすることを願う「ふくし」と、SDGs と、福祉教育・ボランティア学習との相互作用の在り方が問われているように思います。

そこで、本大会では、「ふくしと学びと SDGs は、本当に響き合えるのだろうか？ 響き合うには何が必要なのだろうか？ さまざまな次元でのつながりが大切であるにしても、その意味・方法・目的をどのように捉えればいいのか？ あるいは、つながりを切ることも大切なのではないだろうか？」などを問いとして、みなさんと共に考えたいと思います。

大会テーマは、「響き合う ふくしと学びと SDGs ～今、改めて、つながりを問う」です。現在、新型コロナウイルス、多発する自然災害、ウクライナ紛争、不安定な経済等に直面する私たちは、生活および社会の根本の問い直しを迫られています。福祉教育・ボランティア学習は、それに応えるものでありたいものです。「どのようなしあわせ・つながり・生活・地域・社会をつくろうとするのか」という大きな問いのなかで、福祉教育・ボランティア学習実践あるいはそれと密接につながるべき ESD（持続可能な開発のための教育）の未来を切り拓いていきませんか。環境・防災・人権・平和などの異領域間のつながりのなかで実践を組み立てる方法や課題、あるいは、世代間・文化間のつながりづくりの意味なども視野に入れて、議論を深めていきましょう。

ぜひ、「こうべ」にご参集いただき、多角的に「つながり」・「つながりづくり」をとらえつつ、現在・未来の幸福といのちを育む実践の在り方を、ともに探っていきましょう。心よりお待ちしております。

3. 期 日 2022年11月26日(土)・27日(日)
4. 会 場 神戸大学鶴甲第2キャンパス (〒657-8501 兵庫県神戸市灘区鶴甲3-11)
5. 主 催 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本福祉教育・ボランティア学習学会第28回こうべ大会実行委員会
6. 共 催 ESD推進ネットひょうご神戸 (RCE兵庫-神戸)
神戸大学大学院人間発達環境学研究科
神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター
ESDプラットフォームWILL
7. 後 援 兵庫県教育委員会 / 兵庫県社会福祉協議会 / 神戸市教育委員会 /
神戸市社会福祉協議会 / 大学コンソーシアムひょうご神戸 (予定)

8. 協 力 (依頼中も含む)

AICL 国際協働学習実践グループ/NPO 法人あいな里山茅茸同人/あすパ・ユース震災語り部隊/NPO 法人あんだんて KOBE/NPO 法人いまじん/NPO 法人インクルひろば/海と空の約束プロジェクト/エルナード水道筋商店街/一般社団法人おいしい防災塾/王子スポーツクラブ フラッグフットボールチーム ドルフィンズ/賀川記念館/NPO 法人環境カウンセラー会ひょうご/Camp Life/くすのき農園/クラーク記念国際高等学校/くららベーカリー/NPO 法人グローバルプロジェクト推進機構 (JEARN)/甲南子育て広場/甲南女子大学/神戸まちづくり研究所/神戸 YMCA/神戸 YWCA/神戸新聞社/神戸大学サイエンスショップ/神戸大学フェアトレード団体 PEPUP/神戸大学附属中等教育学校/生活協同組合コープこうべ/NPO 法人里地里山問題研究所/JICA 関西/すずらん台児童館/NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・兵庫/株式会社ゼネラル・パートナーズ/NPO 法人ソーシャル・デザイン・センター淡路/地域協働プロジェクト/のびやかスペースあーち/NPO 法人 BERT/haha かふえ/NPO 法人はりま里山研究所/公益財団法人 PHD 協会/東お多福山保全・再生研究会/NPO 法人ひと・コネクト兵庫/兵庫県立人と自然の博物館/兵庫県漁業協同組合連合会/兵庫県国際交流協会/兵庫県立兵庫高校/兵庫県立舞子高校/ひょうご市民活動協議会/兵庫大学短期大学部/NPO 法人 Peace & Nature/兵庫ユニセフ協会/福田川クリーンクラブ/NPO 法人プラス・アーツ/ミチのムコウ/南あわじ市教育委員会/ミャンマー関西/れいんぼう☆キッズ (アイウエオ順)

▶こうべ大会専用ホームページ

<https://2022kobe.jpn.org>



▶日本福祉教育・ボランティア学習学会ホームページ

<http://www.jaass.jp/>



9. プログラム

11/26 (土)	
9:30	受付
10:00	ふく・ボラサロン
11:30	休憩・移動
12:30	開 会 式 学 会 長あいさつ 原田 正樹 (日本福祉大学) 大 会 長あいさつ 野崎 隆一 (神戸まちづくり研究所) 研究科長あいさつ 近藤 徳彦 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)
12:50	テーマ解題・討議「響き合う ふくしと学びと SDGs ～今、改めて、つながりを問う」 基調報告 松岡 広路 (神戸大学) 指定討論 諏訪 徹 (日本大学)
14:00	休憩・移動
14:20	課題別研究 (こうべ企画) A「ボランティアの今と未来～阪神・淡路大震災から1万日！」 B「つながりづくり・まちづくりと学び～ごちゃまぜ連携の可能性」 C「グローバルな実践づくりの方法と課題～オンラインの光と影」
16:50	休憩・移動
17:10	学会総会 (～18:40)
18:50	情報交換会 (～20:30)

11/27 (日)	
9:00	自由研究発表 (口頭・ポスター)
11:30	休憩・移動
	11:40~12:30 実践アピールタイム
12:30	課題別研究 1「with コロナ社会の福祉教育・ボランティア学習の価値と実践の問い直し」 2「『語り』をめぐる福祉教育・ボランティア学習の可能性」 3「SDGs 運動と居場所づくり・プラットフォームづくりの関係を問う」
15:00	休憩・移動
15:20	総合シンポジウム 「未来に向けての課題～ふくしと学びと SDGs を響き合わせるために」 コーディネーター 原田 正樹 (日本福祉大学・学会長) シンポジスト 川中 大輔 (龍谷大学・シチズンシップ共育企画) 齋藤 ゆか (神奈川大学) 高田 知紀 (兵庫県立大学・人と自然の博物館) コメンテーター 野崎 隆一 (神戸まちづくり研究所・大会長)
16:50	休憩・移動
17:00	閉 会 式 (～17:30) 大会発表賞表彰式 次年度開催地からのあいさつ 閉会あいさつ 野尻 紀恵 (日本福祉大学・学会副会長)

▼ 課題別研究 (こうべ企画) : A・B・C

A ボランティアの今と未来～阪神・淡路大震災から1万日！

「ボランティア元年」から1万日の歩みの意義を考え、地域を超え、世代を超えて、分かりあい、つながっていくボランティアの未来を展望します。まず、震災を経験していない若い世代から、大学コンソーシアムひょうご神戸の東日本大震災被災地での実践と、震災伝承への挑戦について紹介してもらいます。その後、神戸のボランティアの歩みについて、元神戸市教育委員会の中溝茂雄さんと、被災地 NGO 協働センターの村井雅清さんに話題提供いただきます。

世話人： 伊藤 篤 (甲南女子大学)、長谷部 治 (神戸市社会福祉協議会)
大西 雅裕 (神戸女子大学)、正路 和雄 (兵庫県男女共同参画推進員)
壺井 宏泰 (兵庫県立舞子高等学校)、福本 良忠 (兵庫県社会福祉協議会)
藤崎圭多朗 (神戸市社会福祉協議会)、藤室 玲治 (被災地に学ぶ会)

B つながりづくり・まちづくりと学び～ごちゃまぜ連携の可能性

「福祉」の分野だけでなく、本来自発的なものであるボランティアの世界でも制度化や仕組み化が進行している。その一方で、身近な現場では、複雑かつ多様な課題が錯綜しており、関係づくりの知恵や力のバランスにより均衡を保っているという現実がある。そうした「ごちゃまぜ連携」のあり方に光を当てなおし、近年のSDGsの動向などと対比しながら、持続可能な新たなつながりを見つけたい。

世話人： 栞原 英文 (一般社団法人コミュニティ・4・チルドレン)、吉澤 正徳 (地域協働プロジェクト)
和泉 裕子 (NPO法人 あんだんてKOBE)、井上 雅人 (神戸 Y W C A)
吉良 佳晃 (一般社団法人AZE)、津田 英二 (神戸大学)
野崎 隆一 (神戸まちづくり研究所)、長谷川 俊 (元川崎重工労働組合)

C グローカルな実践づくりの方法と課題～オンラインの光と影

ローカルな実践からグローバルな問題へ、また、グローバルな視点からローカルな活動へ、わたしたちはどのようにアプローチできるのでしょうか？オンラインで、距離を越えて手軽にいつでも会話できるようになった一方で、実践の現場の「空気感」の重要性が改めて認識されているように思います。言語、文化、世代、距離などを越えて、どのようにコミュニケーションを図り、相互の理解を深め、コミュニティを形成していけるのかという点について議論します。

世話人： 池田 拓也 (灘高等学校)、福井 良子 (AICL・実践国際協働学習)
高田 知紀 (兵庫県立大学)、辻 幸志 (NPO法人こうべユースネット)
西谷 寛 (海と空の約束プロジェクト)、山村けい子 (兵庫大学 短期大学部)

▼ 課題別研究：1・2・3

1 with コロナ社会の福祉教育・ボランティア学習の価値と実践の問い直し

当初の問い、すなわちコロナ禍の社会が顕在化させた福祉教育・ボランティア学習の本質や価値とは何なのかを改めて検討し、3年間の研究を着地させる。これまで、感染症は実践に何をもたらし、どんなゆらぎを誘発し、どんな判断を迫ったのかを実践に近い立場からの報告によって考察してきたが、それを踏まえ、最終年はさまざまな研究領域の言説から学び、問うべき論点を抽出し、コロナ×ゆらぎ×価値の問い直しの作業を行いたい。

世話人： 妻鹿ふみ子（東海大学）、田村 真広（日本社会事業大学）
野尻 紀恵（日本福祉大学）、渋谷 篤男（日本福祉大学）
川島ゆり子（日本福祉大学）、渡邊 健一（法政大学大原社会政策研究会）
渡邊 一真（京都府社会福祉協議会）、堤 拓也（神戸大学大学院）

2 『語り』をめぐる福祉教育・ボランティア学習の可能性

本課題別研究の1年目である2021年度は「語り」に関する先行研究を整理し、「語り」の位置づけについて検討した（埼玉大会で報告）。今年度（2022年度）は、大きく2つの方向から研究を進めている。1つは、福祉教育・ボランティア学習における「語り」の実態調査であり、もう1つは、個別テーマ（「メンタルヘルス」「災害」「ハンセン病」）である。こうべ大会でも、参加者の方々と「語り」をめぐる福祉教育・ボランティア学習の可能性について検討したい。

世話人： 三ツ石行宏（高知大学）、奥山留美子（東北文教大学）
川田 虎男（聖学院大学ボランティア活動支援センター）
小林 洋司（日本福祉大学）、岡 多枝子（人間環境大学）
菱沼 幹男（日本社会事業大学）、松本すみ子（東京国際大学）

3 SDGs運動と居場所づくり・プラットフォームづくりの関係を問う

SDGs運動と居場所づくり・プラットフォームづくりとの関係を問うことで、期待される学びや実践の方法・原理を明らかにする。居場所づくり・プラットフォームづくりは、ESD（持続可能な開発のための教育）と福祉教育・ボランティア学習の共通語である。その内実を改めて問うとともに、SDGsそのものも吟味しつつ、互いにどのように影響し合う可能性があるのかを考究する。継続研究（3年間）のキックオフにあたる今回は、実践事例をふまえつつ、今後の研究の方向性や枠組みを、参加者とともに検討する。

世話人： 齋藤 優子（生活協同組合コープこうべ）、松岡 広路（神戸大学）
岩見 理華（兵庫県立兵庫高等学校）、大本 晋也（南あわじ市教育委員会）
尾崎 優子（神戸常盤大学）、川中 大輔（龍谷大学）
高尾 千秋（NPO法人ひらかた市民活動支援センター）
武田 義明（NPO法人ソーシャルデザインセンター淡路）

10. 参加費

参加区分		大会参加費*	情報交換会	弁当
				27日昼
①	会 員 (一般)	6,000 円	4,000 円	700 円
②	会 員 (学生)	2,000 円	1,000 円	
③	非会員 (一般)	7,000 円	4,000 円	
④	非会員 (学生)	3,000 円	1,000 円	
発表原稿集 (別途購入の場合)		2,000 円		

請求金額をご確認の上、指定口座にお振込ください。

参加費のお支払いは **10月1日(土) から 11月22日(火) まで** にお願ひいたします。

※原則として事前振り込みにご協力ください。

当日現地で参加費を支払って頂いた場合、会員も非会員と同額の参加費となります。ご注意ください。

11. 昼食等について

27日は、昼食にパン・弁当販売をご利用いただけます。パンは事前申し込み不要です。

弁当購入をご希望の方は事前にお申し込みをお願いいたします (700円/個)。

なお、会場近隣にコンビニ・レストラン等はありません。

12. 情報交換会

日 時 11月26日(土) 18:50~20:30

会 場 神戸大学生生活協同組合食堂 発達科学部店 (神戸大学鶴甲第2キャンパス内)

参加費 学会員・非学会員：4,000円 学生・学生非会員：1,000円

※事前申込が必要です。当日の参加はキャンセル分のみ受けさせていただきます。予定です。

※新型コロナウイルスの状況を鑑み、中止になる可能性もあります。

13. ふく・ボラサロン

ふくし、ボランティア、持続可能な社会づくりに関わるユース (高校生・大学生・大学院生・若手研究者/実践者) があつまり、日頃の活動、研究/実践にかける想いや悩みを共有しながら交流します。多様な活動に関わる参加者それぞれの関心を交差させ、これからの実践・研究活動をより豊かなものにしていくきっかけづくりを目的とします。

非会員の方、初めての方も大歓迎です。ぜひご参集ください！

日 時 11月26日(土) 10:00~11:30

会 場 神戸大学鶴甲第2キャンパス内 (会場は大会ホームページでお知らせします)

※事前申し込みが必要です (大会参加申込と異なります)。詳しくは P.13 をご覧ください。

14. 参加申し込み・参加費等の振り込み

大会ホームページ内の「参加申し込みフォーム」(8月1日オープン)から事前申し込みが必要です。ふくボラサロンへの参加申込は、別となっておりますのでご注意ください(P.13参照)。10月1日(土)から11月22日(火)までに、下記口座に、参加費等の振り込みをお願いいたします。



参加申し込みフォーム URL <https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/form/registration-fukubora>

▼振込先

【ゆうちょ銀行から振り込む場合】	
記号	14340
番号	36478081
名義	コウベダイガクエイチシーセンター

【ゆうちょ銀行以外の金融機関から振り込む場合】	
店名	四三八
店番	438
預金種目	普通
口座番号	3647808
名義	コウベダイガクエイチシーセンター

15. 自由研究発表(口頭・ポスター)のエントリー

P.8「自由研究発表者へのご案内」を参照のうえ、8月1日(月)から9月27日(火)までに大会ホームページ内の「自由研究発表エントリー」からお申し込みください。なお、大会参加についても、自由研究発表エントリー期間内にお申し込みくださいますようお願いいたします。※郵送・FAX・お電話での申し込みは受け付けできませんのでご注意ください。

16. 教材・資料コーナー

大会期間中を通じて「教材・資料コーナー」を開設します。
展示・販売希望者は10月末までに大会事務局までお問い合わせください。

17. キャンセルについて

入金後の参加費(参加費・昼食代・情報交換会参加費を含む)返金是对応しておりません。予めご了承ください。

18. 特別な支援や配慮が必要な方へ

- ①宿 泊：特に指定はありません。各自で手配していただきますようお願いいたします。
大会事務局で特別の斡旋はしておりません。ご了承ください。
- ②交通手段：公共交通機関またはタクシーなどの民間サービスをご利用ください。
恐れ入りますが、民間サービスの斡旋はおこなっておりません。
- ③情報保障：26日(土)の開会式、テーマ解題・討議、27日(日)の総合シンポジウム、閉会式は手話通訳・要約筆記を予定しています。詳しくは大会ホームページでお知らせします。
- ④託 児：会期中、参加者の方にご利用いただける託児室を設ける予定です。詳しくは大会ホームページでお知らせします。

※その他ご要望があれば、遠慮なく事務局までお問い合わせください。

自由研究発表者へのご案内

- 自由研究発表は「口頭発表」と「ポスター発表」の2つの形式があります
 - 口頭発表は、発表時間 20 分、質疑応答 10 分で行う形式です。
 - ポスター発表は、所定の場所に 3 時間ポスターを掲示し、指定された時間内に在席して、質疑に応答する形式です。
 - いずれの発表も、学会の発表として認められます。
- 発表者の資格について
 - 自由研究の発表者は、本学会の会員（個人及び団体）に限ります。ただし共同研究の場合、連名者は非学会員でもかまいません。
 - 自由研究発表者は、下記の要件を満たしている必要があります。
 - 自由研究発表者は、本学会の会員であること。
 - 上記①の学会員は、2022 年 9 月 9 日(金)までに今年度の学会会費を納入していること。
 - 発表申込及び発表要旨原稿送付を 2022 年 9 月 27 日（火）までに済ませていること。
 - 非学会員で自由研究発表を希望する方は、2022 年 9 月 30 日（金）までに本学会への入会手続きを行ってください。
【入会に関するお問い合わせ】学会ホームページ：<http://www.jaass.jp> をご覧ください。
- 発表の申し込み
自由研究発表希望者は、8 月 1 日（月）から 9 月 27 日（火）24 時まで、**大会ホームページ** (<https://2022kobe.jpn.org>) の**自由研究発表エントリーフォーム**からお申し込みください。
- 原稿の執筆について
 - 自由研究発表希望者は大会当日に配布する「発表原稿集」への掲載原稿を執筆し提出してください。
 - 提出された原稿は、倫理的配慮、様式等を確認したうえで、版下として印刷・製本します。
 - 執筆原稿は、「自由研究発表の原稿様式」を参照のうえ、作成してください。
 - 原稿量は 1 つの発表につき A4 判用紙 2 枚です。字数・行数は 1 枚につき 40 字×40 行とします。
 - 1 枚目の原稿の上部枠内に、①発表演題名、②所属、③発表者名、④会員番号、⑤連名者名を明記します。連名者がいる場合は、発表者の名前の前に○印をつけてください。発表者は 1 名とします。また、同一会場で 2 コマ以上連続して発表する場合は、発表の順序がわかるように、発表演題名の後に（その 1）（その 2）という体裁で記入してください。ただし、連続した報告は 2 コマまでです。
 - 原稿は、①研究の目的、②研究の方法、③倫理的配慮、④研究の結果、⑤考察という基本的な枠組みを示して、簡潔明瞭に執筆してください。結果、考察について「当日資料配付」という未完成の原稿は認められません。必ず結果・考察まで記載してください。また、③倫理的配慮が未記入など、発表原稿の枠組みが不十分な場合は、原稿の差し替えをお願いする場合があります。
 - 「日本福祉教育・ボランティア学習学会倫理規定」及び「日本福祉教育・ボランティア学習学会大会等研究発表に関する倫理ガイドライン」を遵守してください。
※学会ホームページ <http://www.jaass.jp/archives/1160> から【日本福祉教育・ボランティア学習学会研究倫理規定】【大会等研究発表に関する倫理ガイドライン】をご確認ください。
- 原稿の提出
 - 原稿の提出期限は、9 月 27 日（火）24 時です。
 - 原稿は学会が準備したフォーマットファイル（Word ファイル）で大会ホームページ (<https://2022kobe.jpn.org>) の自由研究発表エントリーフォームから発表申し込みに合わせてお送りください。

- (3) 提出された原稿はそのまま発表原稿集として編集し、印刷します。
- (4) 自由研究発表のプログラムは、大会前に発行される学会ニュースに掲載されます。

6. 口頭発表での視聴覚機器の使用および注意事項

- (1) 発表に際して、大会事務局で用意できる視聴覚機器はパソコンとプロジェクターです。
- (2) 発表用データは、USB メモリでご持参ください。
- (3) 学会ホームページの「日本福祉教育・ボランティア学習学会大会等研究発表に関する倫理ガイドライン」を遵守してください。倫理的な問題がある場合には当日配布資料の回収、発表の中止を指示する場合があります。

7. ポスター発表の方法

- (1) ポスター発表会場内の所定の場所（後日指示します）に、11月27日（日）9時までにご持参のポスターを各自で掲示してください。掲示範囲は、縦180cm・横90cmです（ポスターの大きさは、この範囲で厳守）。
- (2) ポスターの最上部に、発表タイトル・所属・発表者名・会員番号を明記してください。

8. 当日配布資料の準備

- (1) 発表当日、参加者に配布する資料がある場合は、発表者が50部程度準備してください。
- (2) 口頭発表の場合、指定された時間までに配布資料を会場のスタッフにお渡しください。
- (3) ポスター発表の場合、適宜、参加者にお渡しください。

■ 大会発表賞のご案内

日本福祉教育・ボランティア学習学会では、自由研究発表において独創的かつ将来性のある優れた研究を口頭発表された方に対して、大会発表賞を授与しています。選考結果は原則として大会時に発表し、学会ニュース等で公表します。

選考対象者は、下の「1. 対象について」の資格（条件）を有する方で、申込時に自己申告のうえ、条件に合致していると認められた者です。ご希望の方は以下を確認し、自由研究発表申込書に必要事項を記載して、選考対象者としての申告を行ってください。

1. 対象

選考対象者の資格は、自由研究発表者のうち、次の(1)及び(2)に該当する者が有する（団体会員は除く）。

- (1) 次の①から④のうち、いずれか一つの条件に該当する者。

①大学院修士課程または博士課程に在学中の者、②修士課程修了後13年以内の者、③最終学歴が学部卒業の場合は、卒業後15年以内の者、④実践者としての経験を有し、本学会の通算在籍期間が10年に満たない者。

*②及び③の卒業月の末日から起算する。

(例)大学院3月修了の場合は3月31日を修了の日とし、13年後の3月31日まで資格を有する

- (2) 自由研究発表申し込み時に選考対象者として自己申告をした者。

2. 選考（日本福祉教育・ボランティア学習学会大会発表賞規定及び大会発表賞細則にもとづく）

- (1) 選考では、①及び②を審査の対象とする。

① 発表原稿集に掲載された発表資料。

② 発表時の内容（当日配布された追加資料がある場合はそれを含む）及び質疑での回答。

- (2) 選考方法

① 候補者リストと投票シートを作成し、大会に参加した全会員に配布する。

② 会員は投票シートの該当箇所に得点を記載して投票する。司会者は投票を義務とする。

③ 得点を集計する際に、平均点と投票数の一定割合点で順位をつける。

■ 自由研究発表(口頭・ポスター)エントリーフォーム入力例

※自由研究発表希望者は、9月27日(火)24時までに、大会ホームページ (<https://2022kobe.jpn.org>) の自由研究発表エントリーフォームからお申し込みください。

<エントリーフォーム入力例>

代表者氏名 代表者会員番号	兵庫 花子 (会員番号：00-0000)	
代表者の所属	〇〇〇〇大学	
共同研究者の氏名 (所属)	神戸 一郎 (〇〇大学)、明石 馨 (▲▲社会福祉協議会)	
発表タイトル	〇〇〇〇に関する実証的研究	
発表方法 (いずれかに☑印)	<input checked="" type="checkbox"/> ①口頭発表 <input type="checkbox"/> ②ポスター発表	
大会発表賞選考対象者 (いずれかに☑印)	<input type="checkbox"/> ①資格なし <input checked="" type="checkbox"/> ②資格あり 該当する区分に☐印をいれてください <input type="checkbox"/> (1)大学院修士課程または博士課程に在学中の者 <input checked="" type="checkbox"/> (2)修士課程修了後13年以内の者 <input type="checkbox"/> (3)最終学歴が学部卒業の場合は、卒業後15年以内の者 <input type="checkbox"/> (4)実践者としての経験を有し、本学会の通算在籍期間が10年に満たない者	
研究発表領域	① 概念・原理・歴史・政策・海外の動向 ② 学校を中心とした展開 ③ 高等学校を中心とした展開 ④ 大学等を中心とした展開 ⑤ 社協・福祉施設を中心とした展開 ⑥ 社会教育・地域を中心とした展開 ⑦ 実践プログラム・評価 第1希望： ⑤ 第2希望： ⑦ 第3希望： ② ※分科会編成の参考にしますが希望する領域にならないこともあります。必ず第3希望まで領域をご選択ください。複数同領域を選択された場合は「実行委員会に選択を一任した」とみなしますのでご了承ください。	
当日使用する機材 (必要な場合☑印)	<input checked="" type="checkbox"/> ①パソコン <input checked="" type="checkbox"/> ②プロジェクター	
代表者連絡先	電話番号 (携帯)	090-0000-0000 ※急な調整をお願いすることがありますので、連絡がしやすい携帯番号等をご入力ください
	E-mail	〇〇〇〇@2022kobe.org

こうべ大会・会場への交通のご案内

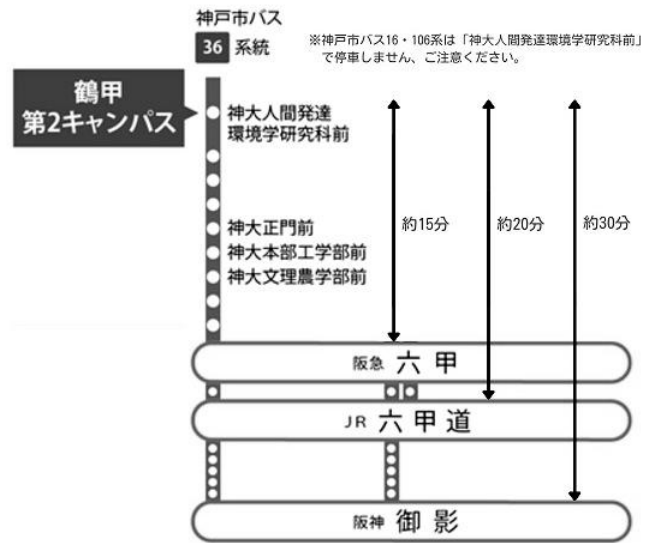
会 場：神戸大学鶴甲第2キャンパス A棟・B棟・F棟
〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学鶴甲（つるかぶと）第2キャンパス

▼キャンパスマップ



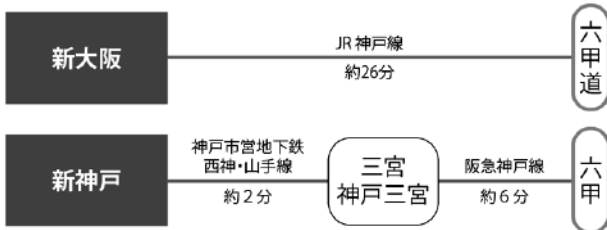
▼神戸大学鶴甲第2キャンパスまで

神戸市バス（阪神「御影」駅、JR「六甲道」駅、阪急「六甲」駅から）**36系統**「鶴甲団地」行きに乗車（「鶴甲2丁目止」行きでも可）。「神大人間発達環境学研究所前」下車。バス停より徒歩すぐ。

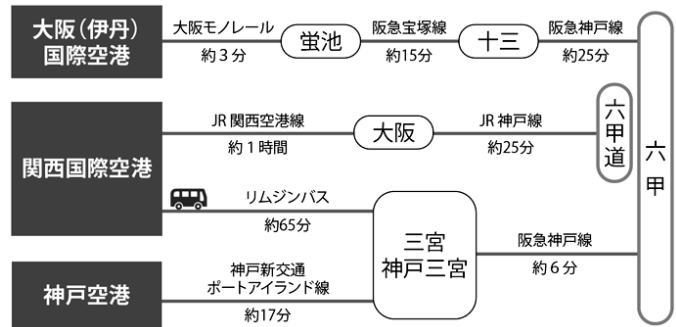


○ 遠方からのアクセス

▼新大阪駅・新神戸駅から



▼空港から



詳しくは神戸大学ホームページをご確認ください (<https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/access>)

※駐車場に限りがありますので、自家用車での入構はご遠慮ください。特別な事情がある方は、大会事務局までご連絡ください

2022年
11月26日(土)
10:00~11:30



ふく・ボラサロン

ふくし、ボランティア、持続可能な社会づくりに関わるユース(高校生・大学生・大学院生・若手研究者/実践者)があつまり、日頃の活動、研究/実践に
かける想いや悩みを共有しながら交流します。多様な活動に関わる参加者
それぞれの関心を交差させ、これからの実践・研究活動をより豊かなものに
していくきっかけづくりを目的とします。非会員の方、初めての方も大歓迎です。
ぜひご参集ください！

会 場：神戸大学鶴甲第2キャンパス内※開催場所は別途お知らせします

申込方法：必要事項を明記の上、下記メールアドレスまでお申し込みください。

- ①氏名(カナ)
- ②所属
- ③学会員or非学会員
- ④連絡先(メールアドレス・電話番号)

esd.platform.will@gmail.com

担当：後藤聡美(神戸大学大学院)・堤拓也(同)



主催：日本福祉教育・ボランティア学習学会
協力：ESDプラットフォームWILL

■ 大会事務局 ■

神戸大学大学院人間発達環境学研究科ヒューマン・コミュニティ創成研究センター

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲 3-11 神戸大学鶴甲第2キャンパス

TEL 078-803-7970 または 7974 FAX 078-803-7971

こうべ大会事務局メールアドレス kobe28th@tiger.kobe-u.ac.jp

こうべ大会専用ホームページ <https://2022kobe.jpn.org>

センターホームページ <https://www.h.kobe-u.ac.jp/ja/hc-center>